

風の芸術展

芸術文化の発信地～枕崎

昭和63年(1988年)文化資料センター南浜館の開館にともない、平成元年(1989年)に枕崎市制施行40周年を記念して、現代美術の全国コンクール「風の芸術展」を開催。従来の枠にとらわれない自由で創造豊かな作品を「平面」「立体」の分野で、国内・国外を問わず募集することで、優れた作品の発表と鑑賞の場を提供して、芸術文化の向上と、地域の発展を目的としています。

これまでの「風の芸術展」

平成元年に第1回展を開催以降、ピエンナーレ(隔年)形式で第6回展(平成11年)まで開催し、平成14年度の第7回展からは、トリエンナーレ(3年に1回)形式となりました。作品は国内はもとより、国外からも応募があり、800点前後の作品が寄せられています。平成22年度に開催された第9回展までに延べ 3,567 人から 5,607 点の作品が寄せられ、国外ではブラジル、アメリカ、ベルギーなど9ヶ国からの出品がありました。作品のレベルは、国内コンクール屈指のものとして高く評価されています。

アートを通したまちづくり～「青空美術館」

枕崎市では、「風の芸術展」の立体作品を街中に設置し、芸術文化の風薫る魅力的なまちを創造しながら、まちそのものを「青空美術館」として、来訪者や市民の憩いの空間として捉えています。



③「時間旅行者のために No.0218」
原 透(神奈川県)



⑦「Ring(カタグルマ)」
塚本洋守(佐賀県)



⑫「Metamorphosis(変容) -dimension(次元)について」
山崎哲郎(東京都)



①「くくく」
宮園広幸(鹿児島県)



⑥「遠くへ」
野崎 翁(徳島県)
第9回「風の芸術展」協賛賞



②「環」
松本憲宜(東京都)



⑩「Wave」
岩崎順一(東京都)



④「斜石館」
佐藤弘徳(宮崎県)



⑪「海風(ウミカゼ)」
竹鶴壽男(神奈川県)



⑤「断崖」
福元修一(鹿児島県)



⑧「鳥」
八田 隆(鹿児島県)



⑨「SpaceII」
平田隆宏(愛知県)

